

# ほっかいどう 広報紙

北海道が わかる つながる かわる  
— 年6回 奇数月にお届けします —

2012  
**5**月  
平成24年5月発行  
通巻192号

特集 平成24年度 北海道予算

北海道の優位性を最大限に活かし、  
誰もが安心して暮らすことのできる  
「未来を拓く“新しい国づくり”」に取り組みます。

昨年3月の東日本大震災は、「ものの豊かさ」や「経済の効率性」を最優先してきた  
これまでの社会のあり方を見直し、「安全・安心」や「絆」の大切さを再認識する契機となりました。

私たちが住む北海道は、優れた自然環境や安全でおいしい食、豊富な自然エネルギーなど  
世界に誇るべき優位性(=「北海道価値」)を持っており、  
「経済と心の豊かさの両立」を実現できる可能性にあふれています。

平成24年度予算では、  
こうした「北海道価値」を最大限に活用し、  
3つの重点的な取り組みを展開することによって  
未来に向けた挑戦を加速させていきます。



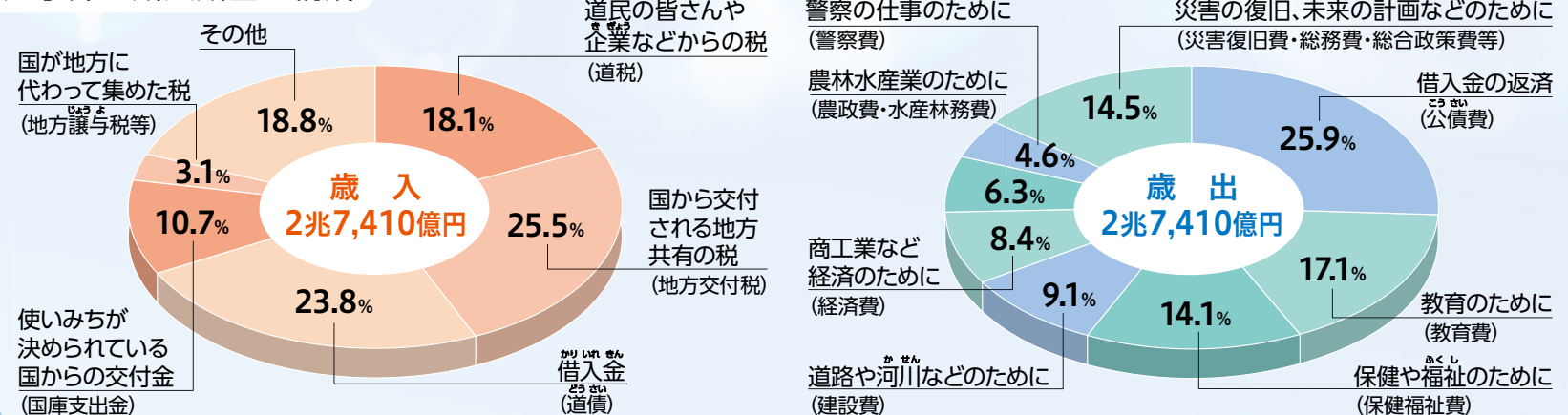
みな  
皆さんと力を合わせて  
夢と希望に満ちた  
明日の北海道を  
切り拓いていきましょう。  
北海道知事 宮田 裕之

地域経済の  
再生と未来を拓く  
経済構造の確立

優位性を  
活かした先進的  
社会モデルの  
創造

安心して  
住み続けられる  
ふるさとの実現

北海道予算の歳入歳出の構成



特集

時代の変化と世界の潮流を見すえながら、活力あふれる地域づくりを目指します。

特集「平成24年度 北海道予算」に関するお問い合わせは、道庁政策局 ☎(011)204-5132 重点政策の詳細はホームページをご覧ください。 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/ssk/juten-index.htm

地域経済の再生と未来を拓く経済構造の確立

本道の強みを最大限に活用した自立的な経済構造の確立と 地域経済の活性化に取り組みます。

本道の強みを発揮した食産業立国の推進

- 安全・安心な食の魅力を最大限に活かした「食産業立国」の取り組みを進めます。
●わが国の食を支える農業・水産業の基盤強化を図ります。
●食資源を活用した付加価値の高い商品づくりを進めます。
●北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」の取り組みを進め、食産業の研究開発・輸出拠点化を目指します。

著しく伸びるアジアの成長力の取り込み

- 北海道の魅力積極的に発信するほか、道産品の販路拡大などにより、アジアの成長力を着実に取り込んでいきます。
●日中国交40周年を記念したフォーラムの開催やアジア新興国とのネットワーク構築を進めます。
●北海道の多彩な魅力をPRするセミナーや商談会などにより、観光客の積極的な誘致を図ります。

- 「ジョブカフェ北海道」「ジョブサロン北海道」の一体的運営と、地方拠点への常駐カウンセラーの配置により、若者や中高年齢者の求職活動を支援します。
●地域商業の活性化を目指した条例の制定により、地域が一体となった取り組みを支援します。
●長期滞在型観光の促進のため、受入体制などを整備します。

優位性を活かした先進的社会的モデルの創造

豊かな自然環境・エネルギー資源のほか、独自の文化なども活かした、わが国や世界にも貢献する北海道ならではの先進的な社会づくりを目指します。

次世代環境・エネルギーモデルの創造

- エネルギーの地産地消や省エネを進め、成長が期待される環境産業の育成に取り組みます。
●地域の特性に応じた新エネルギーの導入や省エネを支援します。
●太陽光発電など新エネルギー関連産業の誘致を進めます。

Table with 3 columns: 種別, 道内貯蔵量(億kWh), 発電への活用割合(%)

わが国や世界に貢献する北海道の発信

- 恵まれた自然条件や高い食料供給力など、わが国や世界に貢献できる北海道を積極的に発信していきます。
●今後の大災害に備え、強靱な国づくりに北海道が貢献する「バックアップ拠点構想」を推進します。
●地域で資源を循環させ、環境負荷の少ないまちづくりを目指す「次世代北方型居住空間モデル構想」を推進します。

- 豊かな水の恵みを将来にわたって享受できるよう、水資源の保全に関する条例に基づく取り組みを進めます。
●「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指した取り組みを推進します。
●「北海道マラソン」や親子向け体験型スポーツイベントなどを通じて、スポーツ王国北海道づくりに取り組みます。

地域に徹底してこだわった政策の推進

- 創意と主体性を活かした個性豊かな地域づくりを支援します。
●地域づくりの拠点である総合振興局・振興局を中心に、地域活性化を進めます。

安心して住み続けられるふるさとの実現

災害への備えを万全にし、医療の充実や高齢化対策の取り組みを行うなど、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。

災害に強い安全・安心な地域づくり

「北海道地域防災計画」を見直し、地震・津波、原子力防災体制を整備するなど、災害に強い安全・安心な地域づくりに取り組みます。

- ハザードマップの作成や避難計画の策定など、市町村の津波対策を支援します。
●災害時における自助・共助の体制を整備するため、地域における自主防災組織の向上にむけた取り組みを支援します。
●「原子力防災計画」の見直しを進め、防災資機材やモニタリングポストの整備など原子力防災体制を強化します。

心がかよう「支え合い」の地域システムづくり

- 自助
●地域の医療を充実させ、安心して生い健やかに子どもを育てられる、高齢者・障がい者にも暮らしやすい地域づくりを進めます。
●高齢者へのケア体制の充実や、障がい者の権利を守る取り組みを進めます。
●医師不足地域への医師派遣や救急医療体制の整備としてドクターヘリの運航支援などに取り組みます。
●がん対策推進条例に基づき、在宅医療・緩和ケアの推進体制の整備などに取り組みます。
●市町村、関係団体及び企業と連携して「母になる人への贈りもの運動」を推進します。
●北海道新幹線の開業に向けた全道的な取り組みを促進します。

お届けします! 赤れんが 道からのお知らせです。お問い合わせはマクの窓口、またはホームページへ。

自転車の交通事故防止! 自転車も交通ルールとマナーを守って安全に乗りましょう

自転車安全利用五則 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外 2 車道は左側を通行...

忘れていませんか? 自動車税は5月31日(木)までに納めましょう

子育て支援携帯サイトがスタートしました

元気に動くシルバー世代を応援 シルバー人材センターをご利用ください

北海道苦情審査委員会制度

2012ホッカイドウ競馬 「グランシャリオナイト」開幕!

「北海道開拓の村」で馬車鉄道に乗りましょう

発信します! 総合振興局 & 振興局

根室振興局 別海で新・ご当地グルメグランプリを開催

宗谷総合振興局 稚内とサハリンを結ぶ「日ロフェリー」が運航

上川総合振興局 天塩川周辺地域の魅力を発信

報告します! 道議会

平成24年第1回定例会 (2/23~3/23)

次回定例会のお知らせ

ちよびエコ

洗濯のときにお風呂の残り湯を使うと、1回あたりで約16円の節約ができる！

※参考／道庁環境推進課「環境行動ハンドブック」

畑で「食」の大切さを伝えたい！  
子どもも大人も、みんな一緒に、  
種まきから収穫まで学べる農業小学校。

# つながる! ひろがる!

## 北海道物語

農村・漁村との交流編

人と人、地域、自然とのつながりから生まれた  
魅力ある取り組みをご紹介します!

漁船に乗ったり網を引いたり、  
毎年、約2千人もの中・高校生が  
寿都ならではの漁業体験!

【由仁町】ふれあい体験農園みたむら **都市 × 農村**

農業体験を通して自然の仕組みや農業の役割、食の大切さを学べる場として「由仁ふれあい農業小学校」を開校して、ことしで11年目。家族や会社の仲間、1人でも気軽に参加できます。



「エダマメが大豆になるなんて、知らなかった」

土曜と日曜のコースがあり、授業は4～11月の隔週16回。個人は5坪、家族・グループは10坪の畑が使い、三田村さんの指導を受けて、自分の好きな野菜で種まきから収穫、食べ方も学ぶことができます。

野菜を育てる苦労や楽しみを実感した子どもたちから「将来は農家になりたい」という声も聞かれるようになりました。

育てる野菜で人気なのは、新鮮なほどおいしいトモロコシやエダマメ。畑で完熟したトマトは、もう別格です。よく驚かれるのが、とれたてのピーマンの甘さ。子どもの野菜嫌いがなくなり、食卓での会話が増えたと喜ばれます。

農園の野菜を収穫してピザやカレーライスなどの調理をする、1日体験メニューもあります。  
▶お問い合わせ ☎090-9439-1523

自分で育て、旬を食べることで、  
嫌いな野菜がなくなると喜ばれます。



ふれあい体験農園みたむら 三田村 雅人さん

ふれあい体験農園みたむら  検索

**都市 × 漁村**

【寿都町】寿都町漁業協同組合

10年以上前から、近隣市町村の小・中学校の要望により漁業体験を受け入れてきた寿都漁協。最初は地引き網体験や磯遊び程度でしたが、先生たちの口コミで全道に広まり、体験メニューも漁船乗船、魚や貝のさばき方、かまぼこづくりなどバラエティ豊かに。現在は全国から年間20～30校の修学旅行生を受け入れています。



漁船に乗って、沖に向かう中学生たち

また、一般向けに、4月中旬～10月中旬は、漁港周辺の磯場を開放する「磯遊びパスポート」を漁協の直売所で販売。海藻やアサリ、ツブなどを採って持ち帰ります。

また、一般向けに、4月中旬～10月中旬は、漁港周辺の磯場を開放する「磯遊びパスポート」を漁協の直売所で販売。海藻やアサリ、ツブなどを採って持ち帰ります。

人気があるのは、やっぱり漁船。定置網やカキ・ホタテ養殖場のある沖に出て、漁師から直接現場の話が聞けるので興味を持ってもらえます。

町内に宿泊施設がないので、ほとんど日帰り体験ですが、立命館慶祥中学校(江別市)は民家に2泊3日滞在。漁村生活も体験し、4年続けて交流を深めています。

▶お問い合わせ 寿都町漁業協同組合 ☎(0136)62-2555  
▶体験申し込み 野外活動マルベリー ☎(0136)58-3388

宿泊施設はないけれど  
漁師の家に泊まる  
生徒たちも。



寿都町漁業協同組合 木村 親志さん

野外活動マルベリー  検索

## 知ってる? 北海道自慢

北海道が始まりのものやナンバーワンには、こんなエピソードがありました。

**ゲートボールは北海道が発祥!**  
実は子どものためのスポーツでした。

ゲートボール発祥の地 **芽室町**

1947(昭和22)年、ゲートボールを考案したのは、当時、芽室町に住んでいた鈴木栄治(後に和伸と改名)さん。戦後で遊び道具もない子どもたちに、何かスポーツが必要だと感じていました。



創始者の鈴木和伸さん

ある日、鈴木さんは汽車の窓からツルハシを持って働く人を見かけ、進駐軍が芝生の上で遊んでいたクロッカーを思い出しました。その記憶をもとに、試行錯誤しながら道具やルールをつくったのがゲートボールの始まり。いまでは全国、世界各国に広がっています。

▶芽室町商工観光課 ☎(0155)62-9736

## それゆけ! 赤チャレ!

道の人材や施設を活用し、特別な予算を使わずにサービス向上を目指す「赤レンガ・チャレンジ事業」(ゼロ予算事業)の取り組みを紹介します。

ペットボトルなどを活用し、エゾシカ対策。  
森林室職員からボランティアの  
皆さんへの技術の普及が目的です。

道庁森林活用課 秋保 和則



「せっかく植樹した木がエゾシカに食べられてしまう」。食害対策の普及のため、昨年度から各振興局の森林室職員が、森林ボランティアの皆さんに技術や情報を提供しています。

使用済みペットボトルを加工して防護用チューブに活用したり、シカ除けの柵やネットを設置するなど、安価で簡単な対策方法を、森林での実習や研修会などを通じて普及しています。



ペットボトルを加工して木を保護

▶道庁森林活用課 ☎(011)204-5515

## お知らせ BOX

### 「コミックふるさと北海道」発行

道と(株)マガジンハウスの協働事業として発行します。北海道ゆかりの漫画家12人が描いた漫画を通じて、北海道の魅力を全国に紹介。5月24日(木)全国書店などで発売します。



このデザインが目印

### 道政広報テレビ番組「ウィークリー赤れんが」道の取り組みをわかりやすくお伝えします。

放送局	放送曜日	放送時間
テレビ北海道(TVh)		6:25～6:30
北海道文化放送(UHB)	日曜日	6:55～7:00
北海道放送(HBC)		16:55～17:00

※放送時間等は変わる場合があります。

北海道庁インターネット放送局  検索

▶道庁広報広聴課 ☎(011)204-5110



◎北海道環境宣言

## 北のめぐみプレゼント!

アンケートに答えて  
道産品を当てよう!

応募者の中から  
抽選で30名様に、  
(株)壺屋総本店の  
「ポテのポトフ」  
(1箱3個入×2箱)  
をプレゼント!



●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートにお答えください。

広報紙「ほっかいどう」5月号はわかりやすかったですか?  
①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい

●応募方法:アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先: ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課 携帯サイト  
「北のめぐみプレゼント!」係  
パソコン 広報紙「ほっかいどう」  検索

●応募期限:6月29日(金)必着  
応募いただいた方の個人情報、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。  
※今月号から、皆さまからのご意見をもとに、より読みやすい文字に変更しました。



北海道の人口	平成23年12月末	平成22年12月末	前年同月比
総人口	5,497,406人	5,518,088人	20,682減
男	2,606,156人	2,618,190人	12,034減
女	2,891,250人	2,899,898人	8,648減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

UD FONT

R70  
古紙ハルブ配合率70%再生紙を使用

VEGETABLE OIL INK

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

次号のお知らせ 7月号は7月11日(水)から配布予定です。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/k.htm>

広報紙「ほっかいどう」  検索

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 ☎(011)204-5110 FAX(011)232-3796 北海道のホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp>

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道に掲載しているものです。